

第2部

サミット会議

【出席者】

三重県知事	鈴木 英敬
桑名市長	伊藤 徳宇
いなべ市長	日沖 靖
木曾岬町長	加藤 隆
東員町長	水谷 俊郎
JTIC.SWISS代表	山田 桂一郎
戦略企画部長	山口 和夫
総務部長	稲垣 清文
地域連携部長	藤本 和弘
桑名県民センター所長	小川 裕之



桑名の観光の可能性

平成25年1月14日(月)

桑名市長 伊藤 徳宇

ゆめ はまちゃん

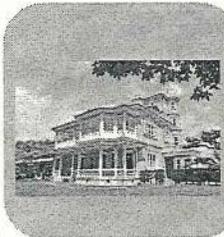


1. 桑名市の地理的優位性について



2. 桑名の主な観光スポット

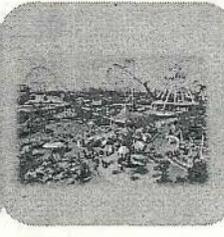
六翠苑



多度大社



ナガシマリムート

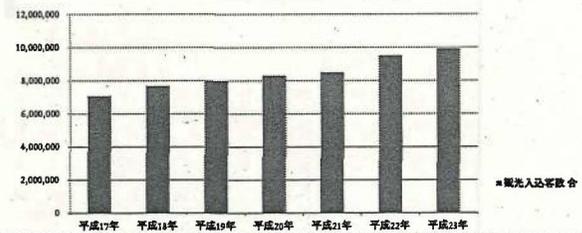


3. 桑名市の観光入込客数の推移

(人)

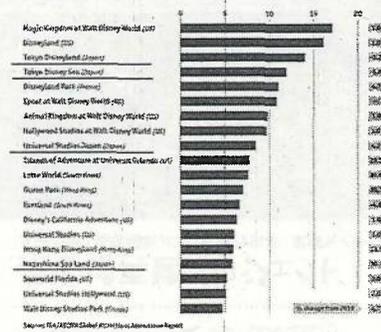
平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年
7,092,259	7,696,437	7,985,273	8,334,181	8,493,685	9,523,085	9,934,134

観光入込客数 合計



4. 長島リゾートの現状

Top 20 theme parks worldwide
by attendance, 2017, in millions



世界17位のテーマパークランキング

観光客入込数 約700万人

併設する三井アウトレットパーク
ジャズドリーム長島の
売上高 400億円超
(平成23年)



5. 桑名のハマグリ



発行元 (株)小学館
著者 雁屋 哲
花咲 アキラ

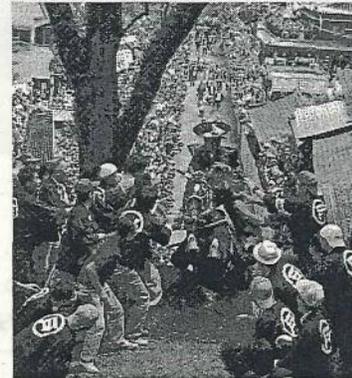


5-1. 桑名のハマグリ



漁獲高の推移
昭和40年代
2,000~3,000トン
平成7年
0.8トン
現在
約140トン

6. 多度大社（北伊勢大神宮）



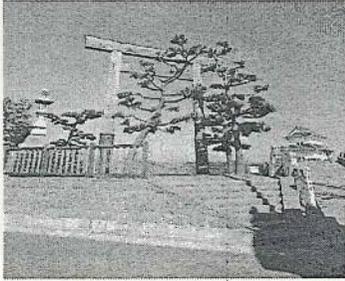
「主な行事」
5月 上げ馬神事（多度祭）
11月 流鏝馬

20年後の伊勢神宮の遷宮
に向けた準備をはじめる



7. 七里の渡し400年

平成28年に七里の渡し 400年を迎える



平成七里の渡し事業

平成9年8月7日(くわなの日)を記念して実施

平成17年度～19年度
観光協会事業として実施

現在(平成22年度～)
民間事業者によって実施

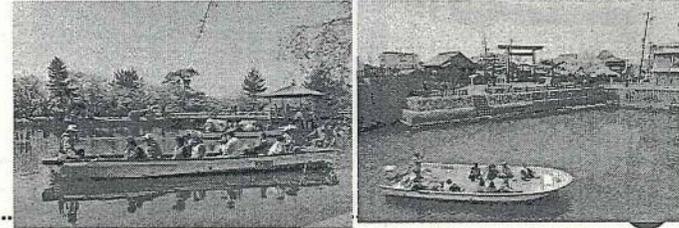


7-1. 舟運事業

平成24年度さくらまつり 桑名城お城めぐり

○概 要
日 時 …… 平成24年3月31日(土)から4月15日(日)
運 行 …… [平日] 事前申込 1日4便
 [土日] 当日受付 1日10便
料 金 …… 大人500円、小学生200円(※小学生以上対象)
コ ー ス …… 内堀コース / 外堀コース(土日のみ)

テレビ・ラジオなどで紹介されたおかげで期間中の乗船者数は3,000人を超えました。



8. 今後の展望

桑名城再建プロジェクト

九華公園(桑名城址)に埼玉県行田市 忍城をイメージした合成写真



市民力を活用して再建を目指します。



ご清聴ありがとうございました



いなべ市 観光の現状と課題



藤原岳 55,000人

阿下喜温泉 140,000人

花の百名山

平成24年度かもしかキャンプフィールド新設

各種人気ランギングで上位取得

ぼたん祭り 14,000人

梅まつり 27,000人

音川峡キャンプパーク 35,000人

いなべ市農業公園 76,000人

そば打ち体験

いなべの里の蕎麦

いなべ野菜

赤米・黒米

料理コンテスト実施

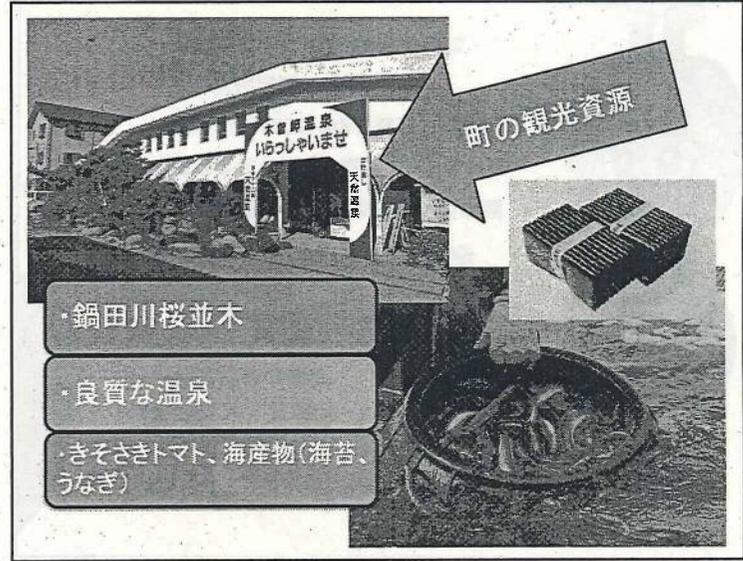
いなべ和牛

課題

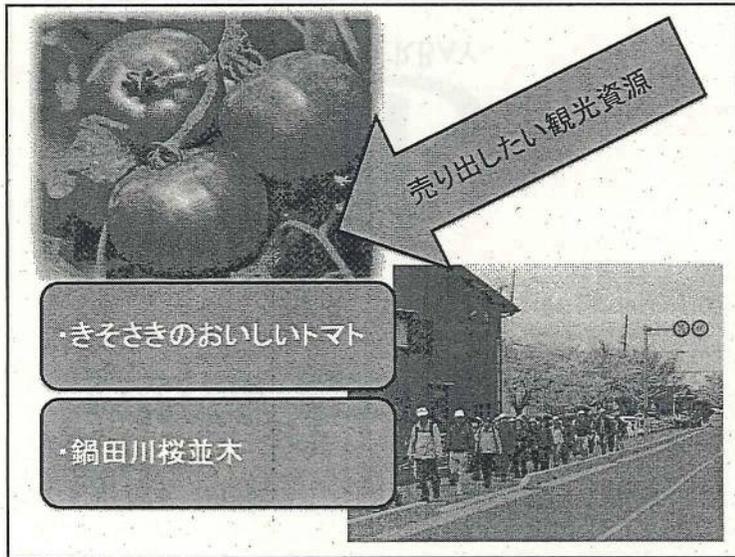
- ・観光産業の確立
- ・食のブランド化のための継続的な戦略
- ・市への来訪者数の増大、消費の促進

課題解決に向けた取り組み

- ・三重の観光営業拠点事業への参画
- ・観光素材の発掘、観光ルートの開発
- ・観光協会(2011年8月設立)の運営・充実
- ・観光宣伝活動の強化
- ・近隣市町との交流・連携の強化



- ・鍋田川桜並木
- ・良質な温泉
- ・きそさきトマト、海産物(海苔、うなぎ)



- ・きそさきのおいしいトマト
- ・鍋田川桜並木



木曾岬干拓地のメガソーラー

ソーラーパネル

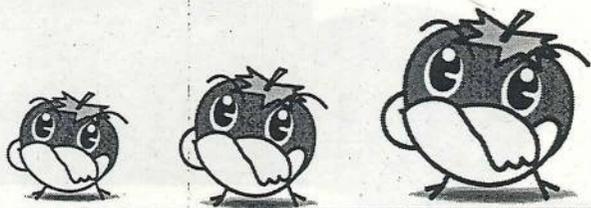
事業規模

- 敷地面積 約78ヘクタール
- 想定最大出力 48.7メガワット
- ※一般家庭の年間使用量の約15,000世帯に相当

課題

木曾岬ブランドの効果的なPR方法

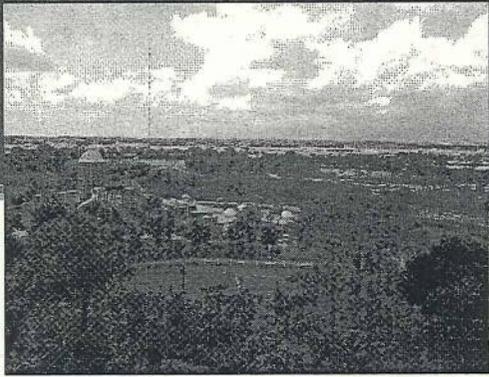
地域資源の開拓・情報の発信



町のマスコットキャラクター トマッピー

東員町のまちづくり

＝持続可能な地域社会を目指して＝





東員町
Toin Town

東員町まちづくりの考え方 = 22区のまちづくり =



ネオポリス住宅団地・桑名国際GC

ネオポリス再生計画

- > 笹尾・城山地区の高齢化に対応
- > 若者の定着を図り、人の循環を喚起

三岐鉄道北勢線

東員町役場群・中部公園・スポーツ公園

東員町コア形成計画

- > 歩いて暮らせるコンパクトタウン
- > 高齢者の受皿となる福祉タウン
- > ゴミ0・エネルギー自給のエコタウン

三岐鉄道本線

東海環状自動車道・東員IC(H27予定)

イオンSM出店予定

- > 平成25年度オープン予定

住宅団地(ネオポリス)の再生(北勢エリア)



昭和49年 団地造成に着手

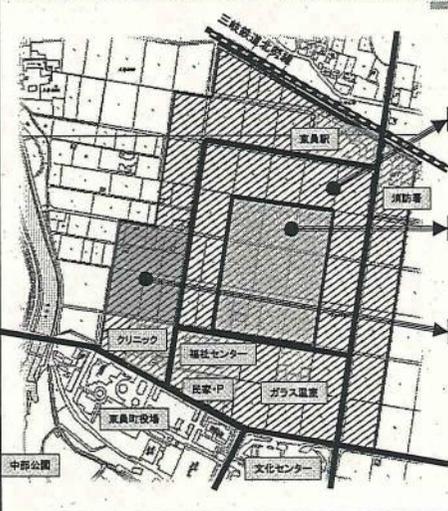
昭和51年 笹尾地区入居開始
(5,000区画)

↓ 35年経過

高齢化の進行・空家の増加

**人の循環を促し、
若者の定住促進を目指す!**

東員町コア形成計画の概要(中部エリア)



福祉・エコのコンパクトシティを形成する(約150,000㎡)

- 駅と役所を結ぶ・歩いて暮らせる市街地

農地として残し、喜びのある農業経営を目指す

- 付加価値の高い果樹や野菜を主とした農業

高齢社会の受皿として、在宅ケアに特化したクリニックモールを形成する(ネオポリス高齢者の受皿)

- ケア付き高齢者住宅の誘致

みんなが支え合い自立した地域づくり

エコ・コミュニティ事業

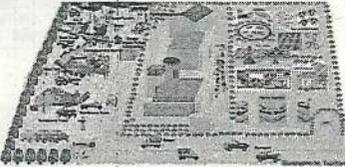
- 可燃ごみの90%削減
- リサイクルセンター設置と資源リサイクルの推進
- 障がい者の働く場の確保



可燃ごみ90%削減の拠点
東員町ストックヤード



障がい者の働く場 パン工房いずみ



リサイクルセンター(計画中)
(イメージ)

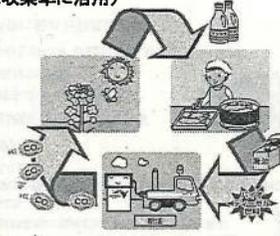
エネルギーが自給できる地域づくり

エコ・タウン事業

- メガソーラ事業の誘致
- 天ぷら油(排油)からバイオディーゼル精製(ゴミ収集車に活用)
- バイオのカ・再生可能エネルギーの活用



メガソーラ(イメージ)



バイオディーゼル精製



バイオエタノール精製(イメージ)

子どもが輝く地域づくり

キッズプロジェクト事業

- -1歳から中学校卒業までの16年間一貫教育
- 子どもの手による「子ども権利条例」の制定
- 子育て負担の軽減



素材探し



子どもカレッジから
作品づくり



完成!(石の芸術)



農業体験から



地域資源を活かした地域づくり

観光プロジェクト事業

- 子どもの自然体験・農業体験などの開発
- 乗馬体験・釣り体験などの開発
- 歴史の掘り起し・歴史めぐりなどの開発



乗馬体験



釣り体験



アオバスク
(百年にわたり猪名部神社に飛来)



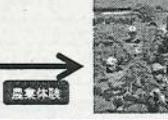
農業体験







七世松本幸四郎文墓所





三重県における観光に関する取組



三重県観光キャンペーン
2013.4～2016.3

三重県知事 鈴木 英敬

平成25年正月三が日観光入込客数

	1月1日	1月2日	1月3日	合計
平成25年	火曜日 ☀️ 303,974人	水曜日 ☀️ 255,575人	木曜日 ☁️ 217,609人	777,158人
平成24年	日曜日 ☁️ 300,788人	月曜日 ☁️ 226,400人	火曜日 ☀️ 202,234人	729,422人
平成23年	土曜日 ☀️ 287,002人	日曜日 ☀️ 244,186人	月曜日 ☁️ 211,471人	742,659人
対前年増減	3,186人	29,175人	15,375人	47,736人
対前年比	101.1%	112.9%	107.6%	106.5%

みえの観光振興に関する条例の制定 (平成23年10月公布・施行)

■制定の意義

- 県、市町、県民、事業者、関係団体等、さまざまな主体の責務・役割を明らかにし、官民一体となって観光振興に取り組むための基盤とする
- 郷土三重の良さや地域の魅力の再発見を通じて、県民の皆さんが地域への誇りと愛着を培う基盤とする
- 幅広い多様な分野の産業からなる観光産業の活性化により、広範囲にその効果を波及させ、「産業としての観光」を確固たるものとする基盤とする

将来にわたり、三重県観光の
持続的な発展を図るベースにする！

■条例の特徴／独自性

- 「人材」を、観光対象となる本県の人的資源と捉え、観光振興の一つとして定義するとともに、その発掘や活用等を図ることを基本的施策の一つとして位置づけ！ (第2条、第10条、第11条)
- 県民に対する期待として、「(県民の)観光行動」を定義するとともに、その促進を図ることを、基本的施策の一つとして位置づけ！ (第2条、第16条)

■条例の概要

前文

～前文に込めた思い～

- (おもてなしの原点の地)
本県は「日本人の旅の原点」ともいわれるお伊勢参りの目的地として、おもてなしの心を今に伝えてきた地である。式年遷宮という絶好のチャンスを通さず、かつての風を今、この三重の地に再現していきたい！
(地域のアイデンティティの確立)
観光振興を通じて、地域のアイデンティティを再構築し、確立させていきたい！
(観光産業の発展)
観光産業を、三重県経済を牽引する産業の一つとして、大きく育てていきたい！

第1章 総則 (第1条～第3条)

第2章 観光の振興に関する役割等 (第4条～第9条)

第3章 観光の振興に関する基本的施策

- 第1節 国内外に対する観光宣伝活動の強化 (第9条～第12条)
- 第2節 魅力ある観光地の形成及び人材の育成 (第13条～第16条)
- 第3節 観光旅行を促進するための環境の整備 (第17条～第20条)

第4章 観光の振興に関する施策の推進 (第21条～第24条)

第5章 三重県観光審議会 (第25条～第31条)

三重県観光振興基本計画の策定 (平成24年3月策定)

■計画策定の趣旨

「みえの観光振興に関する条例」の規定に基づき、観光振興に関する施策を総合かつ計画的に推進するための基本的な計画。

■計画期間

概ね10年先を見据えつつ、平成24年度から平成27年度までの4年間。

■計画目標

項目	現状値	目標値 (平成27年度)
観光消費額 (1日1人当たり観光消費 中食・宿泊 下段・日帰り (平成22年))	4,449億円 【24,553円】 【5,351円】	5,250億円 【25,780円】 【5,618円】
観光レクリエーション入込客数	3,562万人 (平成22年)	4,000万人
観光旅行者満足度評価点	81.4点 (平成22年度)	100点
リピーター率	75.7% (平成22年度)	100%
県内の延べ宿泊者数	708万人 (平成22年)	800万人
県内の外国人延べ宿泊者数	106,000人 (平成22年)	150,000人
観光における海外自治体等との連携事業数(累計)	0件 (平成22年度)	10件

■めざすべき姿

- 観光産業の持続的かつ健全な発展が図られていること
- 県、市町、県民、事業者、関係団体がそれぞれの役割を担いつつ連携が確保されていること
- 本県の観光資源が有する魅力を生かして県内外からの観光旅行が促進されていること
- 観光旅行者の満足度の向上が図られていること
- 本県の観光資源が有効に活用され、かつ、次の世代に継承が図られていること
- 地域の環境の保全と観光旅行を促進するための環境の整備との調和が図られていること

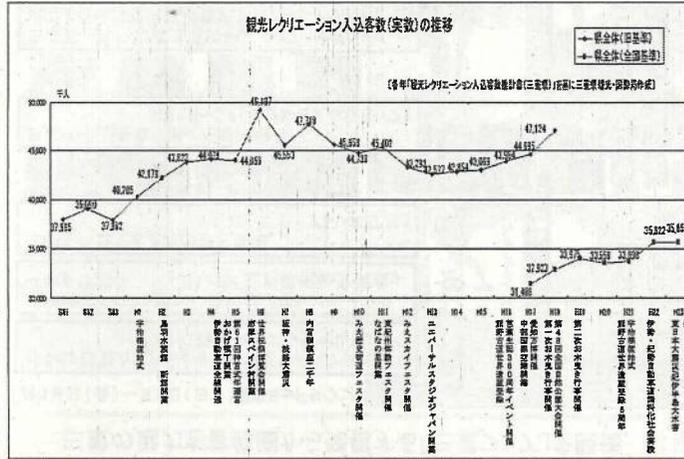
■施策展開の柱

- 式年遷宮の好機を生かした国内誘客
- 三重県の特性を生かした海外誘客
- 観光産業の高付加価値化
- おもてなしの心を形にする観光の魅力づくり・人づくり
- 利便性・快適性に優れた観光の基盤づくり

■計画の主な特徴

- 観光産業の振興を主目的にするとともに、同産業の規模を明示
- 施策の達成度を多面的に評価
- 新たな観光施策の柱を確立
- 計画推進の実効性の向上

県内への観光旅行者数の推移(昭和61年～平成23年)



5

地域別に見た観光旅行者数の推移

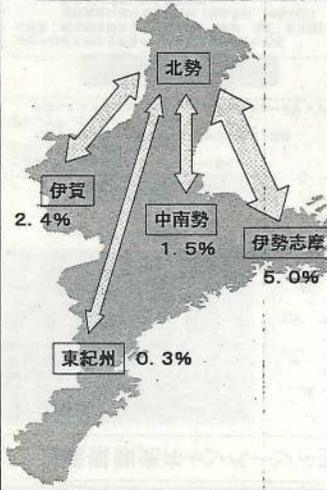
■地域別入込数実数、外国人延べ宿泊者数(従業員数10人以上の施設) (単位:千人)

地域	年	H18 (2006)	H19 (2007)	H20 (2008)	H21 (2009)	H22 (2010)	H23 (2011)
北勢地域		12,605	12,935	13,238	13,511	16,215	16,414
※下段は県全体に占める割合(%)		38.3%	38.1%	39.4%	40.1%	45.5%	46.0%
中南勢地域		6,149	6,122	5,925	5,901	6,350	6,493
伊勢志摩地域		9,187	9,725	9,533	9,278	9,092	8,784
伊賀地域		3,554	3,613	3,285	3,374	2,358	2,417
東紀州地域		1,428	1,580	1,577	1,634	1,607	1,545
合計		32,923	33,975	33,558	33,698	35,622	35,653
外国人延べ宿泊者		—	90	91	87	96	77
※下段は9人以下の施設を含む		—	—	—	—	106	91

※ 実数とは、市町が集計した匝数を「観光客実態調査」に基づき得られた係数、平均訪問観光地点数(立ち寄り率)で除したもの。
 ※下段は9人以下の施設を含む
 (資料:三重県観光・交流室「平成22年観光レクリエーション入込数推計書」,観光庁宿泊旅行統計調査)

6

観光客の県内における地域間移動の状況



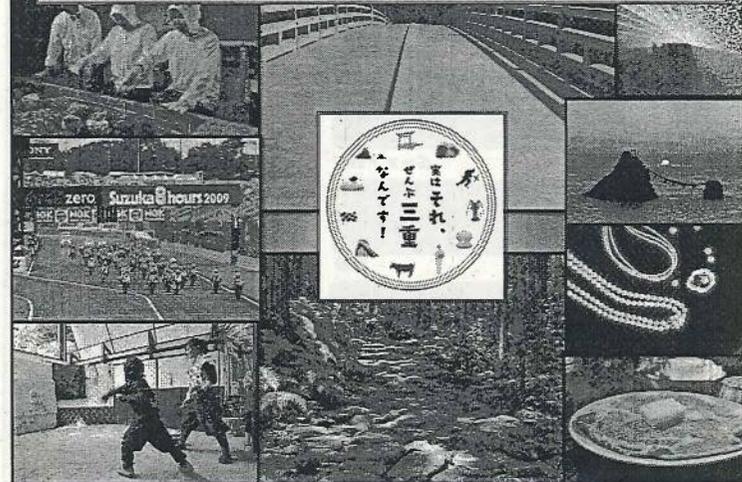
■H23県内地域間移動の割合(%)

	北勢	中南勢	伊勢志摩	伊賀	東紀州
北勢		1.5%	5.0%	2.4%	0.3%
中南勢	1.5%		3.5%	0.4%	0.4%
伊勢志摩	5.0%	3.5%		0.9%	0.8%
伊賀	2.4%	0.4%	0.9%		0.1%
東紀州	0.3%	0.4%	0.8%	0.1%	

県内地域間移動の割合:
 三重県観光・国際局が実施する観光客実態調査の聞き取り調査において「その他の地域へ立寄った」とした回答者の地域別割合を、県全体の入込数に対する割合に換算した。

7

三重県観光キャンペーン 実はそれ、ぜんぶ三重なんです!



三重県観光キャンペーン～実はそれ、ぜんぶ三重なんです！



キックオフイベント 伊勢市

三重県観光キャンペーン ロゴマーク

PR隊長 桂三穂さんとPR隊 紀北町

周遊パスポート

三重県で初となる「周遊パスポート」の発行
 ①県内周遊スタンプラリーの実施
 スタンプを集めて、三重ならではのプレゼント提供
 ②ランクアップするパスポート
 獲得したスタンプ数により、パスポートがグレードアップ

他県との連携

温泉や紀伊万葉など先達テーマを有する他県との連携
 鳥取県：観光情報提供会への相互参加（東京・大阪・名古屋）
 旅行雑誌における共同企画（旅の手帖、HANAKO）
 観光ガイドブックの共同作成
 奈良県・鳥取県：日本経営者連合会を拠点とした3県連携
 3県博物館の連携

県内受入体制の充実

地域の情報発信・サービスの提供
 ①みえ旅案内所（県内約50箇所）
 周遊パスポートの発給・押印
 ・それぞれの地域の旬の情報を提供
 ②みえ旅おもてなし施設（飲食店、観光施設、ホテル等）
 ・周遊パスポートの提示により、割引や飲み物などサービスの提供

各種機関と連携した事業の実施

事業者等と連携した三重県観光キャンペーンの展開
 高速道路の割引企画
 セントレアを活用した大規模な三重県PR
 鉄道等事業者と連携した企画列車 等

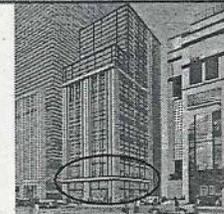
2013.4～2016.3

首都圏営業拠点のオープン

平成25年夏オープン！



完成予想パース図
 （平成25年3月竣工予定）



拠点の効果的な運営に向けた事業者からの提案 コンセプト

「首都圏（現地）の方々へ三重文化に強れてもらう場所」「三重への旅のきっかけ、準備を提供する場所」「本物志向や地域活動に興味がある方々を吸引する場所」

機能

本来、別々のものとして訴求してきた、三重の「物語」「人」「食」「自然」という4つの要素をしっかりと組み合わせ、感じてもらえる機能（例えば、飲食、物産、神話などのサービスコンテンツを融合）。

内装イメージ

洗練された「真」としたしつらえ、千代田日本橋ビル（仮称）のモダンな外観に対して、三重の素材と伝統の技を駆使した三重らしさを感じるジャパニーズモダンな空間、親代風でありながらどこか懐かしさを感じる、居心地の良い未来空間。

効果的な運営

首都圏にいる三重県出身の人々が、スタッフでもと意識できるようにすることが肝要。その意味で、「物語」「人」「食」「自然」などのコンテンツを提供し、三重県出身者、三重県在住者が「100%」として使える運営が重要。

※公募中の運営事業者の提案も入れて、今後決定

三重の魅力首都圏から発信する「三重フェア」を開催

1月18日（金）～27日（日）東京ミッドタウン

昨年は西野カナさん。今年もサプライズゲスト！
 1月18日「オープニングセレモニー」

式年遷宮をPR、海女や忍者などキャンペーンの一端を体感
 1月18日「三重県観光交流会」

三重を体感できる匠の技を実演
 1月26、27日「アトリエ三重」

三重の逸品を取り揃えた期間限定
 1月18～27日「プレミアムショップ」

三重県と東京の最先端のトレンドのコラボレーションによる良質な素材が個性的なメニューに！
 1月18～27日「レストランフェア」

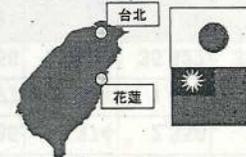
2013.1.18～27日
 東京ミッドタウン
 三重フェア

私の三重。

日台観光サミットの開催 ～台湾との交流・連携～

2013日台観光サミットを三重県に誘致
 台湾からの誘客に取り組む

平成25年5月30日～6月2日
 志摩市を中心に開催

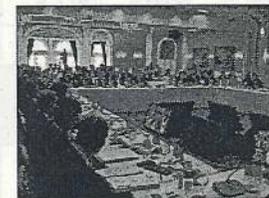


○台湾との交流・連携の「重点強化期間」

- ・観光、産業、物産の5大取組
- ①「リーディング産業展みえ2013」での台湾産業連携セミナー開催
- ②台湾ランタンフェスティバルへの参加
- ③台湾での三重県物産展の開催
- ④昇竜道ミッション（台湾）への参加
- ⑤「2013日台観光サミットin三重」の開催

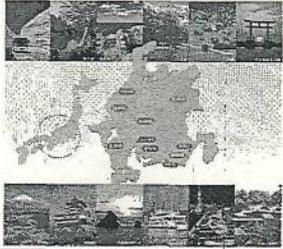
○台湾からの三重県への観光客（延べ宿泊者数）を回復

・2008年：25,330人 2011年：13,200人



日台観光サミット（7月台湾花蓮）

中部圏での広域連携



「昇龍道」プロジェクトの推進

ハイレベルミッション派遣

広域連携によるプロモーション

観光展への出展・招聘事業



三重県も様々な事業で連携・協力

中部広域観光推進協議会

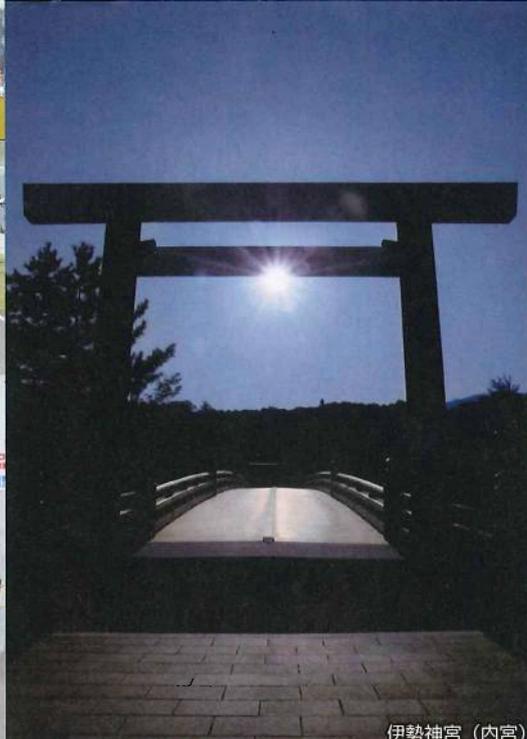
設立:平成17年10月

構成:中部9県3市(富山県、石川県、福井県、
長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、
滋賀県、名古屋市、静岡市、浜松市)、経済
団体、観光関係団体、交通関連会社、旅行
会社、一般企業(平成24年6月現在77団体)
事業:ミッション派遣、メディア・旅行会社等招聘、
観光展等出展(ITF)等

13



F1日本グランプリ (鈴鹿市)



伊勢神宮 (内宮)



海女小屋体験 (鳥羽市・志摩市)



伊賀上野NINJAフェスタ



世界遺産 熊野古道・伊勢路



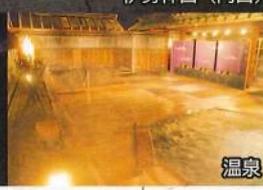
四日市ヨンビナートの夜景



松阪牛



関宿 (亀山市)



温泉



赤目四十八滝 (名張市)



六華苑 (桑名市)

平成25年
4月
START!

三重県観光キャンペーン ～実はそれ、 ぜんぶ三重なんです!～



日本人の心のふるさと、伊勢神宮。



聖地を結び祈りの道、世界遺産・熊野古道伊勢路。



海女小屋体験で新鮮な海の幸に舌鼓。



伊賀流忍術発祥の地で忍者文化を体感。



1日丸ごと楽しめるアミューズメントスポット。



温泉でゆったりリラックス。

旅するたびに、新しい魅力に出会える三重

古くからの歴史・文化が受け継がれ、自然の恵み豊かな三重県。来年、平成25年には、伊勢神宮において、御社殿をはじめ、神々の調度品である神宝などを新調し、神様に新しい御殿にお遷りいただく20年に1度の大祭、「第62回神宮式年遷宮」が行われます。また、平成26年には、熊野古道伊勢路が世界遺産登録10周年を迎えるなど、観光トピックスが盛りだくさん!

この機会に、三重県各地の本物の魅力を観光客の皆さんに体感していただけるよう、平成25年4月から、「三重県観光キャンペーン ～実はそれ、ぜんぶ三重なんです!～」がスタートします! 期間中は県内全域で、楽しい企画をたくさんご用意します。詳細はcoming soon! ぜひ、三重県に遊びに来てね!!